

市指定文化財<史跡>

いちなりじょうあと
市成城跡

指定日 昭和41年4月15日

所在地 菊池市原 菊池溪谷内



別名奥山城といい、阿蘇スカイライン道路の中央駐車場から北に約1km登った国有林内に城跡の碑があり、市民の森の真上にあたる。

『菊池風土記』には「奥山城在番年々替る、警護(警固)重き所深葉山の近所」「菊池家没落以後菊池庶孫細永蔵人と申者蟄居・・・」とあり、そのあとの文を要約すると「不在中に焼討ちされ、子は原村の細永に移ったが、それ以後この城には住む者がいない」となっている。この焼討ち事件は「菊池家没落以後」とあるように、伝承では城・赤星・隈部の菊池三家老の争いが原因だったようである。

豊後方面からの襲撃に備えたもののように見えるが、城の遺構はない。

『菊池風土記』巻六系図に、5代経直の弟経継(佐野三郎)の子経能(原四郎)を祖とする細永蔵人。巻三神社「四郎宮」の項に「細永村に在り、大輔^{たいふ}経直の弟・・・佐野太郎経正の弟原四郎を祭りたると云」とある。